



進捗報告

コミュニケーションスキル班 B4 熊沢律紀

2022/12/01

Web会議を軸とした実践コミュニティ形成



実践コミュニティの構成要素

領域

メンバーに共通する課題や問題

コミュニティ

影響を与え合いながら学習する集団

実践

知識の交換と活動

背景

Web会議

- コロナで遠隔でのコミュニケーションの活発化
(_[1]コロナが収束した後のリモートワーク継続希望率78.6%)

コミュニティは遠隔で作られる

コミュニティ

- 実践コミュニティへの移行
(事例: 富士ゼロックスのVHP、マッキンゼーPDネット)

一般化したらどうか？

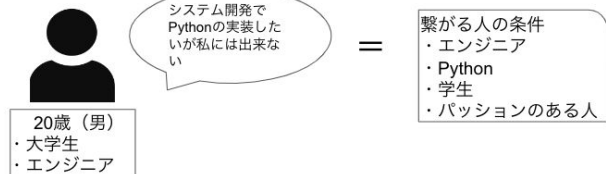
目的

Web会議を軸とした実践コミュニティの形成支援アプリの開発

➡ Firebase × AgoraWebRTCによる開発(言語: Dart, フレームワーク: Flutter)

アプリのシステムが実践コミュニティ形成に有効であるのか？

➡ アプリの流れを疑似的に再現し、評価実験



領域

話題一覧ページ

コミュニティ

部屋一覧ページ

実践

ビデオ会議ページ

段階的に実践コミュニティの形成を行う

システム有効性の検証

実験版アプリのシステム一覧

- アカウント認証、ログイン
- 話題一覧
- 部屋一覧
- プロフィール(フォロー、フォロワー、edit等)
- WebRTC(Agora WebRTC)

システム有効性の検証の流れ

事前アンケート



実験



事後アンケート

事前アンケート

目標や課題を調査する

例:「勉強頑張りたい」「就活対策したい」



グループ化



勉強グループ

就活グループ

実験

アプリ内グループで対話

時間: 15分

人数: 5人 + 観察者(私)

話題: 最初に指定

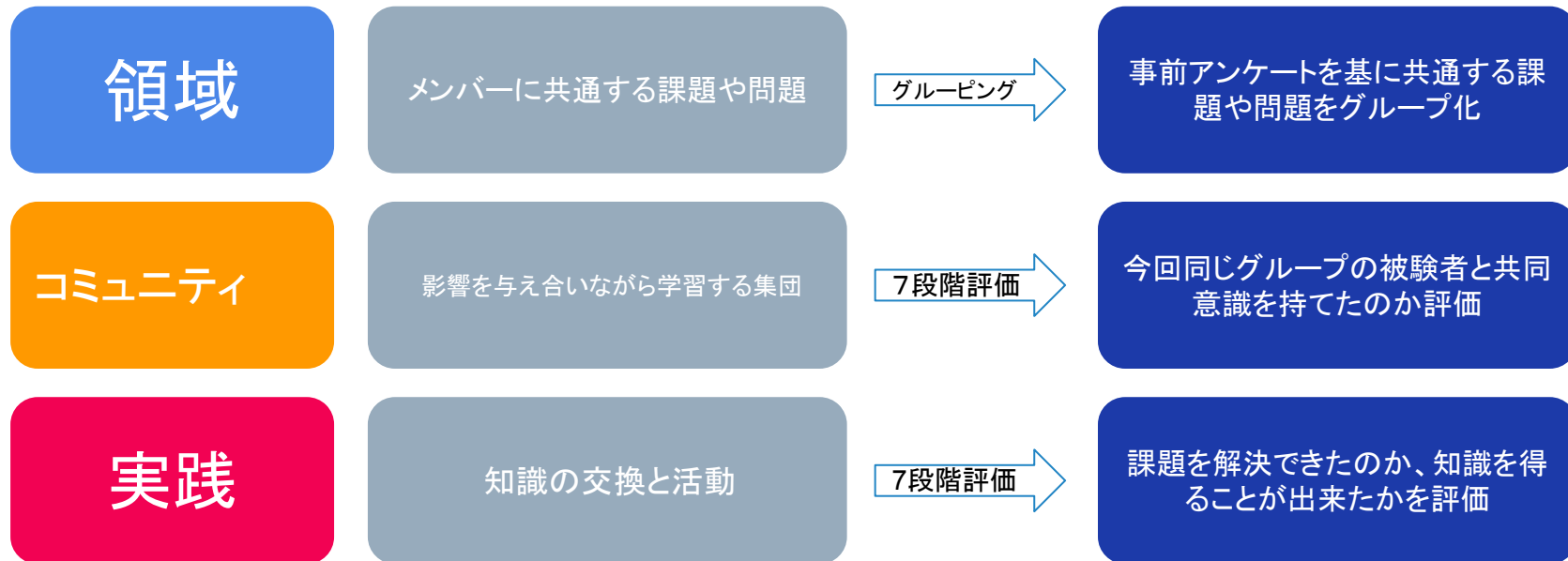
15分



事前アンケートをもとにした話題

事後アンケート

「実践コミュニティ形成が出来たのかを評価」



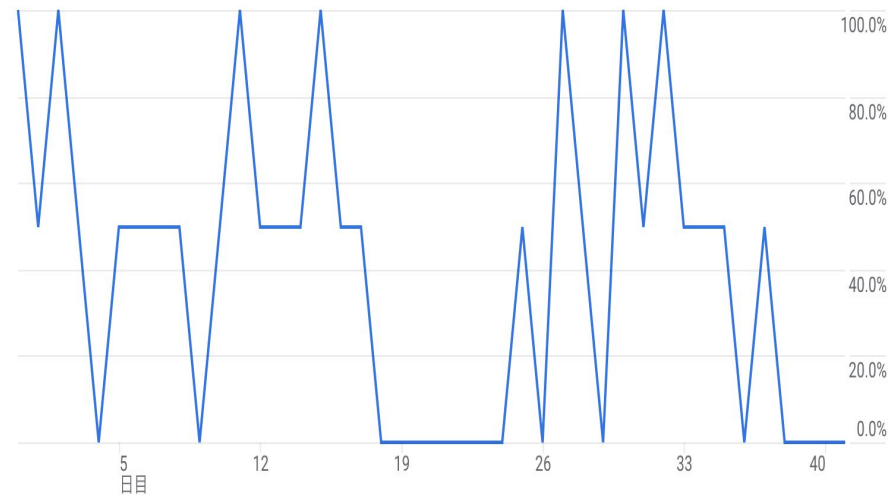
サーバー側からの実践コミュニティ形成とシステムの評価

サーバー側パネルビューとアナリストの参考画像



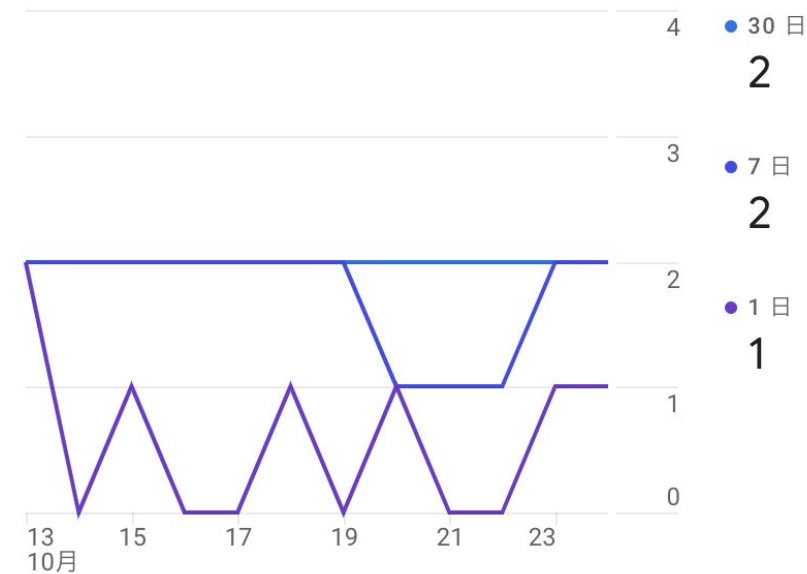
<div>  users <div>   </div> </div>	<div>  2QKoYiM21LNhTC1cn05TCR3Licx2 <div>  </div> </div>
<div>  ドキュメントを追加 </div>	<div>  コレクションを開始 </div>
<div> <div>2QKoYiM21LNhTC1cn05TCR3Licx2</div> <div>UK1DGEKgxagojWOWABnBnI</div> </div>	<div> <div>  フィールドを追加 </div> <div> <div>bio: "</div> <div>displayName: "りつきです!"</div> <div>email: </div> <div>inAppUserName: "yuba"</div> <div>photoUrl: </div> <div>userId: "2QKoYiM21LNhTC1cn05TCR3Licx2"</div> </div> </div>

ユーザー維持率



過去42日間 (10月24日まで)

ユーザーのアクティビティの推移



今後の予定

- ・12月初旬 開発完了と調整
- ・12月中 実験と分析、考察を完了する